

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成21年12月9日)

開催日及び場所	平成21年10月 8日(木曜日) 四国森林管理局会議室		
委員	渡邊法美(高知工科大学マネジメント学部教授) 横川和博(高知大学人文学部教授) 川合通子(高知県森と緑の会理事長) 古谷純代(高知商工会議所女性会会長)		
審議対象期間	平成21年 4月 1日～平成21年 6月30日		
審議対象案件	174件 うち、1者応札案件59件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件		
抽出案件	55件 うち、1者応札案件 8件 (抽出率32%) (抽出率14%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件 (抽出率67%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争 18件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	
	指 名 競 争	公募型指名競争	該当なし
		工事希望型競争	該当なし
		その他の指名競争	該当なし
	随意契約	該当なし	
	業務	一般競争	8件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	該当なし
	競 争	簡易公募型競争	該当なし
		その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし
	契 約	公募型プロポーザル	該当なし
		簡易公募型プロポーザル	該当なし
		標準型プロポーザル	該当なし
		その他の随意契約	該当なし
	物 品 ・ 役 務 等	一般競争	28件 うち、1者応札案件 8件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件
		指名競争	該当なし
		随意契約(企画競争・公募)	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約(その他)	該当なし
	(特記事項) なし		

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	○庁舎清掃作業について、民間では経費削減のため従業員が実行することもあるが、業務委託する必要があるのか。	○庁舎清掃の内容には、ワックスがけなど定期的に休日等で行わなければならない作業も含まれる。なお、委託内容については、職員自らが行うべきものがないか今一度検討し、より適切な業務委託を行っていきたい。
	○コピー機のリース料金は全国的に見ても料金設定が不明。局側は予定価格算定について、どの程度積算のノウハウが蓄積されているのか。	○過去の入札の落札結果、複数業者からの聞き取り、見積書を総合的に勘案して決定。ただし、電子機器については、最新機器でなくとも仕様を満たす性能を有する機種がある場合は、落札率が低くなることもある。
	○治山のコンサルタント関係の業務が非常に低落率であり、特に地元の小企業はきつい状況にあるのではないかと思われる。	○治山事業の調査・設計業務については、四国外の業者が受注したものは2件であり、他の9件は四国内の業者が受注していることから、地元の業者を圧迫しているとまでは言えず、既存業者内で競争が激化しているように思われる。
	○低入札の状況がひどくなるようなら最低基準を決めてはどうか。	○発注者側としても、適正な価格で発注する必要があると考えており、6月から低入札調査基準を設け実施している。
	○発注者が必ずしも組織内に技術者を持つ必要はないと思うが、技術顧問のような人材は必要ではないか。発注者側にも技術力がなければ業者から出された結果について正しい判断ができなくなるのではないか。	○発注者、受注者に対して適切なアドバイスを与えることができる大学などの機関と連携し知見を高める取組も必要と考える。
	○産物販売委託契約は公募・企画競争となっているが、どのようにして落札者を決定するのか。	○素材の販売業務の委託にあたっては、どのような樹材種をどの程度有利に販売できる特色や能力等を備えた市場であるかについて、審査項目（取引実績、実行体制、能力や取組状況等）毎の企画提案を受けて、その内容を評価した点数により市場を選定している。
○競争とは、コストだけの評価ではなく、技術や品質を含め総合的に評価することである、低価格であっても内容が保証されなければ競争上評価できるものではない。どのような競争がなされているか議論すべきである。	○総合評価方式では、価格だけではなく、技術面、安全面への配慮なども考慮されるので、品質が確保されると考える。10月以降の入札からは、造林事業、生産事業においても導入される予定であり、他の業務についても検討されている。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし	